

教生ス04

※前年度比5%以上変動している 要因（該当する場合のみ ☒ ） ※該当項目すべてに ☒	☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど	☒ 2. 左記1によらない対象件数などの増減
	☐ 3. 物価・賃金水準などの変動	☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減
	☐ 5. その他（	）

成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	①	グラウンドゴルフ場来場者数	人	目標	20,000	33,000	33,000	達成率(%)	38,000
				実績	29,244	30,532	36,483	110.6%	
	②			目標				達成率(%)	
				実績					
	(式又は説明)								
(式又は説明)									

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
	○	○				○	○	○		

視点	分析のためのチェック点			はい			分析・評価の説明
				はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）			☒	☐	☐	近隣市に施設が無く、他市からの視察も数が増え、好評価を得ている。特に生涯スポーツとしても人気が高く、事業を縮小・廃止・休止等をした場合の影響はかなり大きい。
	市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か			☒	☐	☐	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない			☒	☐	☐	
	事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい			☒	☐	☐	
効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）			☒	☐	☐	現在臨時職員3名・再任用職員3名の6名で管理等を行っておりキッズパークに関しては昨年度より来場者が178%増となっていることから効率性は妥当である。
	使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である			☒	☐	☐	
	人員を削減する余地がない			☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない			☒	☐	☐	
	国・府の事業や市の他事業と重複していない			☒	☐	☐	
	市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない			☒	☐	☐	
	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）			☐	☒	☐	
協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか			☒	☐	☐	スポーツ推進委員等の協力も得ながら大会等も行っている。
有効性 達成度	成果指標の実績値は目標値以上である			☒	☐	☐	来場者数からも有効性は達成している。
	成果指標は前年度より向上している			☒	☐	☐	

担当 部局 評価	総合評価	
	☒ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など） 市内のグラウンド・ゴルフ愛好者には施設の概要等について定着しつつあるので、今後は市外にも発信していく。また、大会等の数を増やす・協賛企業を誘致する等の努力を行い来場者数増を目指す。	
行革 本部 評価	総合評価	
	☒ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見 夏季のコース開放は、賑わいの創出など一定の成果をあげている。今後、本体事業の継続的发展とともに、管理コストの合理化・効率化を図ること。	